

株式会社システムコンサルタント 株式会社 日新 様 情報システム構築サービス 事例



会社名 株式会社 日新
設立 昭和13年12月14日
資本金 60億97百万円
上場 東京・大阪 各証券取引所第一部市場
従業員数 1,074名
売上高 1,213億44百万円(平成21年3月期)
海外拠点 23ヶ国
(米国、カナダ、英国、ドイツ、フランス、ロシア、CIS、
中国、香港、タイ、シンガポール 他)
本店 横浜市中区尾上町六丁目84番地
URL <http://www.nissin-tw.co.jp>

海貨営業業務の効率化を実現する為、見積、受注、通関への作業 指示やドレイ手配等を一気に通貫で管理する海貨営業管理システム 「Ocean Gate System」を構築

総合物流企業として、国内外に数多くの拠点・ネットワークを持ち、海上・航空・陸上貨物輸送、国際複合一貫輸送、プラント輸送、引越貨物輸送や倉庫業務、通関業務など物流全般に関わる事業を幅広く展開されています。

■業務内容

・国際複合一貫輸送のパイオニア

総合物流会社としていち早く世界各地に物流ネットワークを展開。陸上、海上、航空の輸送手段を組み合わせた複合一貫輸送によるDOOR TO DOORサービスはお引き取りからお届けまで日新の手で運ぶ事ができる、お客様にも好評のサービスです。物流拠点は国内100箇所以上、海外には28現地法人、7駐在員事務所に至っています。特に中国は半世紀に及ぶ経験と実績を有し現在は8現地法人、3駐在員事務所と最も当社で力を入れている地域です。更にインド、ロシアなど他の物流企業があまり進出していない地域へ拠点を新設する等、積極的に海外展開を行ない、あらゆる貨物、あらゆる輸送形態に対応した物流体制を構築しています。

■システム刷新の背景

従来は、1999年に構築されたクライアント/サーバモデルの受注システムを利用しており、OSのバージョンアップやインフラの老朽化に伴って、システムインフラを刷新する必要が出て来ていた。また、業務サービスの多様化により、効率的に業務が遂行できるようシステムを改善する必要があった。折りしも、Sea-NACCS*1のバージョンアップ等、関連システムの全面更改や内部統制などの対応も必要となり、今回全面的なシステム再構築に踏み切った。

■本システム構築で想定されていたリスク

今回のシステム構築について、その計画中には、様々な実現リスクが検討されていた。まず第一にはスケジュール遅延が許されないことである。税関主導によるSea-NACCSの全面更改時期が2008年10月に決定しており、これ以前にシステム構築を完了させる事が必須条件となっていた。具体的な検討を行うとシステム構築だけでなく、業務移行、全営業担当のオペレーションの習熟、データ移行などが終了していなければならない、これを加味すると遅くとも5月には、システム構築を完了させなければならない。実質システム構築期間は8ヶ月に満たない事になる。

また、システム運用効率も考慮する必要があった為、従来システムのクライアント/サーバモデルの使い勝手に勝るユーザビリティをWEBベースでのシステム構築で実現する必要があった。つまり、綿密なプロジェクトコントロール・技術力・業務知識のすべてに対して期待できるSIベンダーを選択したいと考えていた。

※1Sea-NACCS

税関と関連民間業界(船会社、船舶代理店、CYオペレーター、保税業者、通関業者、及び輸出入業者)をオンラインで結び、異業種にわたる利用者の各種業務を処理する“官民共同利用システム”として運用されている。



堺ロジスティクスセンター

CASBEE Aランク取得倉庫
太陽光発電システム設置

堺臨海部における大型物流施設開設 — 2009年4月営業開始 —

株式会社 日新 様

情報システム構築サービス 事例

■システムの特徴

・見積もりから、作業実施までの状態管理・履歴管理

海貨営業業務は見積もり作成処理、受注入力・各種の手配処理等において、500項目以上の入力作業が発生する。これを軽減化する為、入力画面では、履歴情報や類似情報をフレキシブルに検索し、コピーする機能やコード内容の照会・入力が簡易に行える機能などユーザーフレンドリーな画面を実現している。また、入力頻度に応じた多段階な画面となっているので、案件レベルにあった入力しやすい画面を選択することができる。

今まで手作業で行っていたお取引先へ見積書の送付や、トラック・コンテナ・倉庫の手配等の次工程への指示、保険会社への申込は、自動メールや自動FAXとしてシステムより送付している。作業の軽減はもとより、送付宛先の間違いを無くす効果もある。

見積もりから受注確定までは、ワークフローで管理され、精度の高い情報が、あと工程の通関システムに連動していく。また、通関工程のステータスも随時、当システムに反映され、お取引先へのフィードバックを可能としている。



■システム利用者の声

株式会社 日新
国際業務センター センター長
渡辺 弘幸 氏

この度、(株)システムコンサルタント様のご協力により、海貨業務の効率化を目指した「Ocean Gate System」を完成する事が出来ました。このシステムの構築により、今まで別々に行っていた受注と発注という入力業務を単一のシステムで行う事が出来るようになり、一度入力した本船名やコンテナ番号その他の情報が自動的に反映され、重複入力を避けることが可能となりました。

また、昨今の厳しい経営環境に対応するために他システムと連携させ、物量情報の早期確認による収支予測が可能となり業務効率が向上しました。

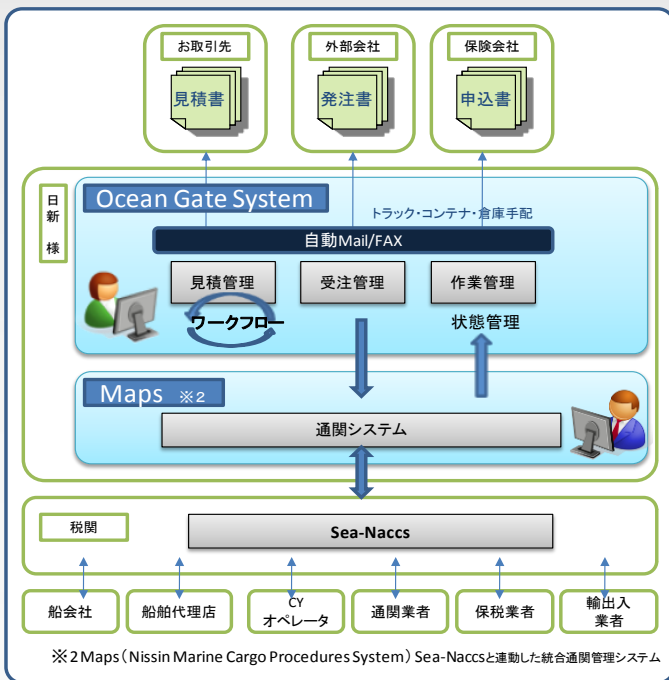


■システム開発担当の声

・使い勝手の良さとセキュアなシステム
株式会社 システムコンサルタント
プロジェクトマネージャー
坪田 竜一

営業担当の皆様がお使いになるシステムと言う事でしたので、出来る限り使い勝手の良い画面機能を目指して構築しました。その為に構築プロジェクトには、エンドユーザーとなる営業担当の方々にもご参加頂き、ご意見を頂きながら、モックアップ(システム模型)を作成して、実際の使い勝手もシステム本構築前に確認して頂く、セミプロトタイプング手法でシステム構築を行いました。内部統制の対応も必要でしたので、権限管理、証跡監査等セキュリティー一面にも配慮しています。

システム全体イメージ



■システム部の声

株式会社 日新
総合システム部 課長
秋田 孝次 氏



当プロジェクトは2008年10月稼働のSEA_NACCsをターゲットとする通関システム(MAPS)と連携するため、4ヶ月先行しての運用開始を目標に2007年10月にキックOFF致しました。要求仕様としては、非同期処理の旧システムからレスポンスが要求されるリッチクライアントによる同期処理及び、ワンポイントでのシステム移行を求めたため、より高い技術力・プロジェクト管理が実施できる(株)システムコンサルタント様に開発して頂きました。要件定義から統合テストも含め8ヶ月と言う短い期間でしたが、ユーザーからの要請にも迅速に対応して頂きスケジュール通り稼働することが出来ました。今後は請求システムとの連携や内部統制、下請法等の法令遵守に対応した機能の追加などを実施し業務の効率化を一層図る予定です。

お問い合わせ先

株式会社システムコンサルタント
第一営業部

第一営業部
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー12F
TEL 03-3829-4631 FAX 03-3829-4475
URL <http://www.ksc.co.jp>